

(1) 実施機関名：

北海道大学

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文）地殻変動等多項目観測データの全国流通一元化公開システムの運用と高度化

（英文）Operation and improvement of nationwide crustal deformation open data platform

(3) 関連の深い建議の項目：

6 観測基盤と研究推進体制の整備

(1) 観測研究基盤の開発・整備

エ. 地震・火山現象のデータベースの構築と利活用・公開

(4) その他関連する建議の項目：

6 観測基盤と研究推進体制の整備

(1) 観測研究基盤の開発・整備

ウ. 地震・火山現象のデータ流通

(5) 令和5年度までの関連する研究成果（または観測実績）の概要：

全国の大学等の地殻変動連続観測等の多項目観測データの全国流通・一元化を通じてデータの蓄積・公開を実施した。気象庁のひずみ計観測網データのリアルタイム流通が実現し観測網の拡充が図られた。

(6) 本課題の5か年の到達目標：

全国の大学や気象庁等の地殻変動連続観測などの長周期・長期間の多項目観測データを流通・蓄積・公開を行うシステムを安定的に運用し、観測研究の研究基盤としてオープンデータとしての利用を促進する。新たな観測点・観測項目への対応、解析機能の追加、既存機能の高機能化などを行う。必要に応じて過去の観測データを収集整理してアーカイブする。

(7) 本課題の5か年計画の概要：

地殻変動連続観測等のデータ流通の一元化・蓄積・公開を継続する。サービスを安定して行うため、システムを支えるサーバのセキュリティや利用言語のアップデートへの対応を実施する。サーバやストレージを更新し運用の安定化とデータ保存の確実化を図る。新たな観測点や観測項目についてデータ提供機関との調整を行い必要に応じてモジュール等の開発を行う。データベースにプラグインされているデータ解析機能の改良を行う。必要に応じて、過去データを収集整理しアーカイブする。

(8) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

高橋浩晃（北海道大学大学院理学研究院）

他機関との共同研究の有無：有

岡崎紀俊（地方独立行政法人北海道立総合研究機構）, 太田雄策（東北大学大学院理学研究科）, 名和一成（国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター）, 露木貴裕（気象庁気象研究所）, 下山利浩（気象庁地震火山部）, 新谷昌人（東京大学地震研究所）, 板寺一洋（神奈川県温泉地学研究所）, 本多亮（神奈川県温泉地学研究所）, 鷺谷威（名古屋大学大学院環境学研究科）, 伊藤武男（名古屋大学大学院環境学研究科）, 山崎健一（京都大学防災研究所）, 山下裕亮（京都大学防災研究所）, 西村卓也（京

都大学防災研究所),松島健(九州大学大学院理学研究院),中尾茂(鹿児島大学大学院理工学研究科)

(9) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等:北海道大学大学院理学研究院

電話:011-706-3591

e-mail: isv-web@mail.sci.hokudai.ac.jp

URL: <https://www.sci.hokudai.ac.jp/isv/>

(10) この研究課題(または観測項目)の連絡担当者

氏名:高橋浩晃

所属:北海道大学大学院理学研究院